第６号
ハローしま
2011 年１月発行

# 皆さんとの絆に感謝！

ＮＰＯ法人スマイルオブキッズ代表理事　田川　尚登

私達は断つことの出来ない人と人との結びつきから成り立っています。それは家族であり、友人であり、出会うことの必然によって人生を歩んでいく道があるように思います。それは神様からの思し召しなのか、祖先からの繋がりなのか、目に見えない宇宙からのメッセージなのかもしれません。辛いこと悲しいことも、人のつながりの中から上手く前に進んでいくことが一番の道かと思います。

私達の活動は、難病や障がいを持つ子どもと家族の支援活動です。一昨年から始めた地域･関連企業団体の皆さんにご支援をいただきながら開催している重症心身障がい児･者と家族のための「地域がささえるふれあいコンサート」も今年で３回目（2011 年８月 13 日～ 14 日）を迎えます。このコンサートは、私達と特別支援学校に通っている子どもの母親と当時の校長先生との出会いによって実現したコンサートです。この出会いも必然であったかもしれません。歌っているボーカルの皆さんに感動を与えた子どもたち、ボーカルの皆さんから感動と心地よさをいただいた子どもたち、身体も自由に動かすことができなくても言葉を発することができなくても、音楽からは享受できることが沢山あるのだなあと感じる温かいコンサートです。このコンサートをボランティアで引き受けてくださっている亀渕友香 &VOJA の皆さんとも同じ思いを持っていて不思議な絆で繋がっています。

病院だけではなく、家で障がいを持つ子ども達を育てている家族の皆さんには、介護や介助に追われてゆっくりとコンサートホールで子ども達と良い音楽を聴く時間というものが存在していません。障がいを持つ子ども達にも健常児達と同じ権利があるのですが、車椅子やバギーで介助が必要な子ども達に対応しているコンサートホールなどの会場が限られてしまいます。ですから学校での生活の中でもこういう体験する部分がすっぽり抜けているのです。身体も動かすことができず、言葉も上手く発することができない子ども達にこそ“音楽の力”が必要なのです。音楽が子ども達の生きていくエネルギーになり、人生に広がりができていく力となります。今後もこのような子ども達と家族のための活動を皆さんからのご協力をいただきながら全国にも広げていきたいと考えています。皆様にとって､愛する子ども達にとって 2011 年が素晴らしい年となることを願っています。

目には見えないものが　まるで空気のように
見えるものより　ずっと大切な存在
人に言われるよりも　なくして気がついた
懐かしいあの声と笑顔に
逢いたい　Thanks to your love　（ありがとう）
星より多い数の　先祖たちがそれぞれに
時に熱く　時に重く
つながり合って築いてきた　き・ず・な
何万年前の　昔から
今ここに生きる　私まで流れる愛は
奇跡のように
海よりも深い　思いに包まれて
知らずに生かされている
ありがとう　生まれて来たこと
ありがとう　きずなに感謝

（亀渕友香＆ VOJA「神様がくれた愛の道」のアルバムに収録。湯川れいこ作詞「きずな」より）

# 「リラのいえ」
# 活動報告 (2010.7~12)

| | |
|---|---|
| 7月10日 | 東海脳腫瘍セミナー参加 |
| 7月17日 | 患者・家族、病院関係、近隣住民、ボランティアの交流バーベキュー会開催 |
| 7月20日 | こども医療センター協働事業定例会議に参加 |
| 7月24日 | こども医療センター血液再生科研修会の保育手伝いの依頼を受ける(16名の子供さんを保育士さんと一緒に預かる) |
| 7月30日 | 日本テレビ番組「ゼロ」にて、滞在施設「リラのいえ」紹介と利用されるご家族の現状の放映あり |
| 8月18日～9月17日 | 第２回　横浜桐蔭大学サービスラーニングの依頼を受け、３名の学生のボランティア研修を行う。 |
| 8月21～22日 | 重症心身障害児と家族参加の第２回地域がささえるふれあいコンサート開催（出演：亀渕友香 &VOJA　会場：横浜ラポールシアター）(3回公演、127家族450名参加) |
| 9月21日 | こども医療センター協働事業定例会議に参加 |
| 10月3日 | 第11回JHHHネットワーク会議参加（滞在施設運営者全国大会） |
| 10月23日 | バザーと交流会、イモ煮会開催　会場：「リラのいえ」テラスにて10万円を超える収益あり、沢山のバザー品やご寄付に感謝。 |
| 10月25日 | 「かながわボランタリー基金21」次年度のプレゼンテーションに参加<br>こども医療センター協働事業定例会議に参加 |
| 11月16日 | こども医療センター協働事業定例会議に参加 |
| 12月4～5日 | 小児アレルギー学会（会場：横浜パシフィコ）にて、滞在施設「リラのいえ」の広報活動をする |
| 12月14～15日 | 南陵高等学校福祉部の学生のボランティア体験とビデオ取材の依頼を受け、ボランティア研修を行う。参加１４名。(ビデオコンクールにて最優秀賞を受けたそうで、おめでとうございます) |
| 12月18日 | クリスマス会を開く。ボランティア、患者・家族、お客様含めて38名の参加ありなごやかに過ごしました。 |
| 12月20日 | こども医療センター協働事業定例会議に参加 |

寄稿

# 四十周年を迎えました

神奈川県立こども医療センターは、今年開設四十周年を迎えました。また今年度から運営が県直営から地方独立行政法人神奈川県立病院機構に移管されました。日本各地の小児病院は規模や役割、運営方法がさまざまですが、私達のこども医療センターは今では日本でもっとも歴史の長い小児病院となり、病院に福祉施設や学校を併設する国内で唯一かつ最大規模の総合施設として発展してきました。設立以来多くの方々にご支援を頂き、この年を迎えることができたことをこの場をかりて厚くお礼を申し上げます。

四十周年と独立法人移管を機に、さる 12 月 11 日には記念行事として「明日のこども医療センターを考える」をテーマに、第 81 回こども医療センター学術集談会が開催されました。かつてこの病院で働いた経験のある先輩医師、患者の会代表、ボランティア会メンバー、養護学校の校長先生など多彩な顔ぶれを講師と迎え、また現役の医師や看護師も加わって、管理者には耳の痛い指摘、勇気づけられる支援の言葉やたくさんの意見を頂きました。講演は予定時間をはるかに超え、会場一杯の方々に最後まで講演を聞いていただき、話し手も聞き手も、双方の熱い思いがひしひしと伝わる集談会となりました。集談会のあと、夜にはささやかな四十周年記念・交歓パーティーが催されました。現役職員に加えて、OB・OG、病院ボランティアやリラのいえの関係者にも参加していただき、さながら同窓会のにぎやかさで、旧交を温め、未来を語る楽しいひとときとなりました。

最近の政策や制度改革に象徴されるように、政治・経済・社会情勢の先行きが不透明な時代となり、この国の医療や福祉に多く人々が不安を感じています。とくに小児医療・周産期医療、障害や慢性病をもつこども達への医療がどうなるのか、関心は尽きません。こども達の声が置き去りにならないように私達はいままで以上に敏感でなければなりません。

この未体験の時代に、これまで連綿と培ってきた NGO や NPO の活動がさらに重要な位置を占めることになるものと思われます。小さな力でも思いをひとつに集めれば、明るい未来を切り開く力になることを確信して、善意がさらに多くの人々の共感を呼び、なおいっそうの大きな輪に繋がることを期待しています。これからもよろしくお願い致します。

地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
病院長　康井制洋

## 利用者の声

新潟から来ました山崎です。今回長女のアレルギー治療のため、初めて来させていただきました。医療レベルだけでなく先生方の精神性の高さ、リラのいえの支えてくださる方々の精神性の高さに大変驚きました。新潟（地方）とこちらでは医療を取り巻く価値観の捉え方が全く違います。なぜこんなに違うのだろう。ここに来るまで９年もかかってしまった。私の９年間は何だったのだろう。地方で歯を食いしばってきた８年半、遠回りだったのか、無駄だったのか…？こんな思いでボーと過ごしていました。ボランティアさんとお話をさせていただき、地方に帰って私にもできることがあるかもしれない…と。

私がいただいた有難さや暖かさを帰ってから紡いでいけばよいのかな…と。ありがとうございました。

## リラのいえの活動に参加して

「リラのいえ」が開設され３年目。クリスマス会も終了し、今年も暮れようとしています。

私は退職後、趣味もなく毎日時間をもて余していたところ、佐伯さんに誘われ「まだ、私にもできる事があるかな？」と思いながらボランティアの一員として活動に参加させていただきました。

もともと、こども医療センターの職員当時は佐伯夫妻の「にじのいえ」を利用したご家族の感想を直接聞いたりする機会もあり、施設設立の趣旨やお２人のお人柄にも惹かれ現在にいたっております。

いざ参加してみると、体力も中途半端・事務的処理能力も皆無・気の利かない性格・主婦的センスなし・・・こんな私に何ができる？と思いながらの活動でした。ボランティアが一堂に会しての業務は少なく、個人作業の活動のため「これでいいのか？」がいつも気になりました。この気持ちがいつも離れません。

きっと参加されている皆さんもそう思いながらの活動を経験していた時期があったかも知れません。それでも始めたからにはもう少しと自分に言い聞かせながら経過してきました。続けていると図々しくなるものですね。今では「まっいいか、居るだけでも役にたっているよ」と考えるようになりました。そんな活動の日々ですが、最近では、一緒に活動してくださる方にも恵まれ、お掃除・お料理・学生さんの受入れ対応など楽しく活動できるようになりました。気まぐれな私にも役立つところがある事に感謝しながらの活動です。私自身、無理をせず、自称「居るだけボランティア」に徹し、息の長い活動を続けていきたいと思っています。

（斉藤 美代子）

# ☆ 第 11 回ＪＨＨＨネットワーク会議に参加して

第 11 回ＪＨＨＨネットワーク会議が全国滞在施設運営団体と関連団体の７１名が参加して、平成 22 年 10 月３日（日）、名古屋第一赤十字病院内ヶ島講堂で開催されました。

私たちの「リラのいえ」からは、佐伯、松尾と保育士の萱畑、大石の４名が参加しました。午前中は滞在施設（ハウス）の現状についての報告とパネルディスカッションがあり、午後からは「全国滞在施設運営団体の事例に基づく研修会」が行われ，まず、１時からの全体会で①退院して自宅に戻る前の練習の場としてのハウス活用、②きょうだい児保育、③初めてハウスを利用する人への対応、④対応に苦慮する利用者と題して４事例が発表されました。「きょうだい児保育について」は私、松尾が「リラのいえ」で行っている事例を報告しました。２時からは４分科会でグループディスカッションを行い、さらに詳しく４事例について検討しました。「リラのいえ」の萱畑さん、大石さん二人の保育士が神奈川県立こども医療センターで通院または入院している患者さんのきょうだい児の保育について詳細を報告しました。

次回のネットワーク会議を東京で開催する事を決定し、16 時 30 分に閉会しました。

（松尾忠雄）

**■ JHHH 分科会でのきょうだい児保育の発表について**

（1）こども医療センターへ通院・入院されている方の家族の現状。その中できょうだい児はどう過ごしているのでしょうか？（2）なぜきょうだい児保育が必要なのでしょうか？（3）きょうだい児保育に求められているものは？ など、保育から見えてきたものを発表しました。

子どもの病気などは家族にとり緊急事態です。はじめて母親から離れるケースが多く、母親も子どもも不安です。不安をなくすため、心配なお子さまに対しては、保育士がだっこなどをして対応。初めてのお子さまの状態がわからないので、できるかぎり一対一で対応します。そうすることにより、大抵のお子さまは落ち着いて過ごせるようになります。そして通っているうちにリラのいえが楽しい場所になり、こども医療センターへ通う途中で車の中からリラのいえの方を指差し、行きたそうにするお子さま、リラのいえの方が楽しいと言って幼稚園を休んで来るおにいちゃん、またどうしても行くと言ってきかず、お休みの日なのにわざわざリラのいえに来て、しばらく遊んでいかれたお子様もあったそうです。

病気のお子さまを抱え、毎日の大変さの中でなかなか声を出せないでいるご家族、その声に気づき、世の中に発信していくこと、そしてご家族の心に寄り添い支えていきたいです。しかしできないことも多く、これからの課題もたくさんです。出席されている方からは多くの質問、意見などをいただきました。きょうだい児保育をやりたいのですがなかなか実施ができないところが多かったようです　リラのいえの支援者の方々、ボランティアの方々がいてくださることで保育ができていることへの感謝を感じました。

今後に向けては、家族全体を支えていく必要性、保育士などの研修、ネットワーク、行政などへの働きかけが必要なことなど盛りだくさんでした。出席されたお医者様からは、さっそく研修の案内などもいただき感謝！病児の家族を支えている沢山の人々にお目にかかれることが出来、気の引き締まる一日でした。

（保育士　萱畑 佳代子）

## サービスラーニングに参加した学生たちの感想

（2010.8.18 ～ 9.17）

**■桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部　村山　裕花**

実際の経験や体験から学んだこと、得たことがどれだけ自分の力になるか、得るものが大きいかが分かり、何にでもチャレンジすることが大切だと思いました。今回の実習では、多くのことを学びました。初めはどんな仕事をしているのか？家族の生活はどうなのか？それが知りたいという興味だけで参加させていただきましたが、病院に通わなければならないということ以外は、私達と何も変わらないような気がしました。土・日のふれあいコンサートでは、障がいを抱えた子どもとはじめてふれ合い、正直ショックもありましたが、笑顔の家族がとても印象的でした。リラのいえに来たことで命の大切さ、強さを感じました。人が生まれること、健康元気でいられることは奇跡なんだと思いました。

学校の授業では分からなかったこと、感じなかったことが沢山あります。うまく文章には出来ませんが、気持ち的に色々な面で変化したような気がします。リラのいえに来て良かったです。皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

**■桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部　小林　伸彰**

初めてリラのいえに来て、こども医療センター見学の帰りに利用者の方の中には、季節が分からなくなる人もいるという話を聞いたのがすごく頭の中に残っていて、何か良いものが作れないかなと思い、季節に合った色の折り紙で飾り物を作り、リラのいえにプレゼントしたらとても喜んでもらえて嬉しかったです。コンサートで２日、リラのいえで５日、貴重な体験をさせていただいてホントに良かったです。実習中にもらったアドバイスや話を忘れずに身につけていきたいと思いました。また何かの機会があったらボランティアしたいと思いました。

**■桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部　三枝　美穂**

ふれあいコンサートを含めた５日間は、私にとって影響力のあるものでした。将来どんなことをやろうとか決めていませんが、このサービスラーニングを通して私の将来で一つだけこういった環境にある子ども達と接することができるようなものやリラのいえや、コンサートなどで私もボランティアの一人として関わっていけたらなということは決まりました。仕事をしている傍らで障害や難病を持った子ども達や親などのお手伝いや手助けができればいいなと思います。５日間という短い間でしたが、私の心に残ったものと影響力は、相当なものをいただいたと思いました。ありがとうございました。また機会がありましたら、その時はよろしくお願いします。

# 「リラのいえ」を訪問して

「リラのいえ」を初めて訪問しました。緩やかな坂を少し上がって玄関を入ると、広々とした空間が広がります。右手にリビング風のテーブルと賑やかに、所狭しといろいろなものが貼り付けられた壁、左手には廊下を挟んで居室が向かい合って並んでいました。

予定していた時刻より遅くなっていたにもかかわらず、理事長さんを始め、佐伯さん、斉藤さん、ボランティアの方々が迎えてくれました。案内していただいた部屋の中は一通りのものが過不足なく収められ、程よく外から隔絶された空間、一方でみんなが集まるテーブル周りは、気軽に誰かと接して、力を得る場所とがきれいに区分され自由に行き来できる整然とした暖かさを感じました。

ボランティアの方々が3時間交代で24時間つめていて、利用される方々が困ることのないようにしているとのことでした。すごいことが出来ているとあらためて感激しました。

こうした施設は病院の中や敷地内でなく少し歩いて着く程度の程よい距離、むしろ病院が見えない場所にあるのがいい、とのこと。病室の中でこどもと持った特別な時間から、もとの生活にもどるための時間と距離が必要なのでしょうか。継続的な運営資金の心配はあるけれど、特定の企業や団体からの支援を避けて自立性を保つことも大事とのことでした。

全国各地からこども医療センターで治療を受けるためにこども達がやってきます。その家族を支えるための「リラのいえ」は、こども医療センターに何らかの形で関わった人たちの長い間の努力が実り、建設され、運営されてきました。こども医療センターを愛し、こども達のために毎日、真摯に努力を重ねているスタッフに意気を感じて応援してくれる人たちが沢山、集まってくれているからこそ、こんなに素晴らしいことが出来ているのだとあらためて思いました。

こども医療センターの進める医療が先進的でなくなった時、こどもと家族のための医療を進めるのを怠った時、「リラのいえ」に集まる人たちは消えていきます。「リラのいえ」を利用する家族が続くのはこども医療センターが何処よりも優れた医療を続けているとき。そうしたことを考えると「リラのいえ」はこども医療センターの力強い支えであるとともに、厳しい監視役でもあります。

「リラのいえ」の活動がいつまでも続くように、こども医療センターがいつもこどもと家族の幸せを追い続けるセンターであるように願いながら、ささやかなイルミネーションで飾られた「リラのいえ」を後にしました。

（地方独立行政法人　神奈川県立病院機構 理事長　大崎　逸朗）

# 「リラのいえ」からの贈り物

「先生。介護や看護が必要な方への支援も大切だけど…そのご家族の支援って十分と言える社会なのかなぁ」。部員たちの声に私はハッとしました。当事者の方のみならずご家族への配慮について、部員から言葉として出てくるとは思ってもいなかったからです。「では、みんなの出来る限りの力で地域の支援先を探し、その声を聞いてみよう」。そう提案し、たどり着いたのがリラのいえでした。

部員にとってリラのいえはまさに、闘病される子どもさんのご家族を支える為の理想の場所でした。そして、佐伯様やご家族の方にインタビューをしたり、少しではありますがボランティア活動したりさせて頂くことができたのです。本来ですと、私たちが皆様に何かをご提供しなければならないはずが、たくさんの温かい心や優しさ、リラのいえに対する熱い想いをたくさん頂き、抱えきれない程の宝物を持ち帰ることとなりました。そして、佐伯様やボランティアの皆様、ご家族の想いを形にし、リラのいえをたくさんの方に知って頂くことで、少しではありますが恩返しができればと思い「第２２回神奈川県高等学校総合文化祭高校生ボランティア大会」にて発表し、最優秀賞をいただくことができました。

このことは、運営されている皆様のご理解や、ご家族のご協力なくては成し得ることはできませんでした。そして、部員にとっても「家族介護」の在り方について考える大きなきっかけになりました。大袈裟かも知れませんが、私は「高校生には、柔らかく純粋な心が備わっている」と考えています。その心に温かな愛情をたくさん注いで下さった、皆様に本当に感謝致します。ありがとうございました。

神奈川県立横浜南陵高等学校　社会福祉部顧問　渡辺 奈津美

# 「リラのいえ」運営にご支援ありがとうございました

2010年6月２３日から１２月２０日まで
敬称を略させていただきます。記入漏れや誤字等ありましたらお許しください。

**【寄付によるご支援者】**

小瀬村芳明 / 永田ちゑ / 須佐井信子 / 宋美智恵 / 宋美智恵 / 渡辺 / 安嶋裕美 / 大竹裕也 / 石丸彰 / 武内大佳 / サクラクレパス / ユニック / 田辺精一 / 大崎逸朗 / 黒澤卓剛 / 武居正則 / 小林整治 / 坂田みさお / 岩ヶ谷幸子 / 平野たつ子 / 横田綾 / 岡山幸弘 / 平野章 / 張健 / 羽田貞子 / 成田則子 / 寺島妙子 / イシガタダカツ / 東洋観光（株）/ 上田絹子 / 石川礼子 / 安嶋裕美 / 山野真純 / 鐘ヶ江和馬 / 後藤光司 / 渡辺 / 奥田美也子 / 伊藤玲子 / ハートフルタクシー / 白鳥勉 / 浅井行雄 / 立石諒子 / 今村恭子 / 長谷川良子 / 堀川恵子 / 松永淳子 /（有）ひまわり / 石丸彰 / 吉田紀江 / 柿沼妃予子 / 日本文教出版 ( 株）菅野 / 山浦襄司 / 小林整治 / 大竹裕也 / 渡辺希世子 / 張健 / 匿名 / 宮田ますみ /（有）木村義肢工作研究所 / 木村シズ / 細川真路 /（株）ブライトワン / 大木一布 / 山下順三 / 田川清 / 袴田碧 / 島谷健一 / 岡山 / ㈱アウ・ユー・ビー / 平尾和子 / 安嶋裕美 / 平川篤子 / 本橋製作所 / 渡辺 / 石丸彰 / 石崎淳子 / 鈴木ひとみ / 張健 / 伊澤リヨ / 加藤茂雄 / ｽﾏｲﾙｵﾌﾞｷｯｽﾞ募金箱 / 研修・見学謝金 / 美安重典 / 匿名 / 大竹裕也 / 小林整治 / 開隆堂出版（株）/ 吉仲寿充 / 安嶋裕美 / 渡辺 / 清水建夫 / 羽田貞子 / 竹見名央 / 石丸彰 / 井原一成・美葉 / 大竹裕也 / 平野章 / 大熊紀代子 / 小林整治 / 吉田真弓 / 張健 / 有本淳子 / 白谷弥生子 / 森下友恵 / 鎌田慎次 / 岡田浩子 / 小国厚一郎 / 神奈川土建横浜沼沢静江 / 大倉能子 / 安嶋裕美 / 立野聖奈 / 渡辺 / バザー募金 / 石丸彰 / 小林整治 / 阿部啓子 / 橋本睦子 / 張健 / 大竹裕也 / 須佐井信子 / 増田眞里子 / 安嶋裕美 / 平野章 / 伊藤和弘 / 関口眞由美 / 張健 / 渡辺 / 田川いつ子 / 小林整治 / 羽田貞子 / 石丸彰 / 手しごとサポート宗像正子 / 上田絹子 / 山浦襄司 / 舘野規子 / 松浦朋子 / 秋山美和子 / 成富育子 / 大竹裕也 / 上田美代子 / 吉田聡 / 志村直江 / 扇谷あづさ / 新津 / 関英一郎　（12月20日までのお振込み）

**【よこはま夢ファンド】**

大田弘 / 岩崎真一郎 / 神奈川福祉事業協会会長関根貞雄 / 坂本比呂子 /( 有 ) 誠幸商事代表取締役鈴木一誠 / よこはまファミリーハウス /NPO 横浜市集団回収推進部会 /( 有 ) 工藤紙業 / 小林商店 / 石井康博 / 小宮弘毅 / 坂本比呂子 / 赤木和子　（11月30日まで）

**【物品によるご支援者】**

柴橋商会 / 名和幸子 /（株）アルコデザイン / 高石直美 / 落合真也・麻希 / 石川礼子 / 匿名 / 木村紀子 / 宮川利津子 / 福島敬子 / 草場春美 / 津田美季 / 千葉ひろみ / 吉田多紀江 / 守谷明美 / 都田和朗 / 黒澤宗剛 / 相馬かよ子 / 泉陽一 / 古藤文幸 / 野村志津子 / 草場春美 / 有本淳子 / 平野 / 斉藤美代子 / 高石直美 / 浅川冨美子 / 稲森朝子 / 増井洋子 / 有本淳子 / 花王（株）コーポレートコミュニケーション部門社会貢献部 / 吉仲寿充 / 田中勢津子 / 熊谷順子 / 大塚民枝 / 西村昭子 / 別所西三友会掘口貴美江 / 阿部啓子 / 大江まみ子 / 倉科紀美子 / 有本萌子 / 茂田悦子 / 飯田朝子 / 倉科紀美子 / 吉田眞弓 / 千歳 / 鐘理恵子 / 近藤トシ子 / 小島あずさ / 末森明美 / 香樹の里鈴木祐輔 / 内田洋子 / 横溝ヒロミ / 二上圭子 / 森下友恵 / 沼沢静江 / 石川礼子 / 柳澤京子 / 守谷明美 / 有本淳子 / 工藤友子 / 加納麻純 / 前島正幸・春子 / 鶴見孝子 / 竹田こどもクリニック / 皆川友希 / 吉川千里 / 草場春美 / 鶴田恵彌子 / 栗田洋子 / 増田眞里子 / 宮川利律子 / 塩見あき子 / 山下真左子 / 鈴木まゆみ / メディアポート / 白谷弥生子 / 榊原 / 渡辺正直 / 小松眞子
（複数回の方含む）

＊バザーには多くの皆様より、品物のご提供ありがとうございました。( 次回は 10 月末頃予定 )
＊セカンド・ハーベストジャパンより、度々の食品提供がありました。
＊東横商事：4 月より、月２回食品の提供、社員よる清掃一般の活動のご支援がありました。
提供品詳細：飲料水 500ml ＝ 2040 本 / 米＝ 90Kg/ ごはん＝ 284 食 / 切餅＝２０袋 /
あづき＝ 72 缶 / ラーメン・うそん・そば＝ 348 食 / カレー＝ 40 食 / スープ類＝ 282 食
総合計金額　¥238,164
＊設備関係の保守管理には神工舎建築工房をはじめ、各設備関係の皆様にご支援頂いています。
＊ 12 月 25 日、昨年に引き続きホンダオート神奈川株式会社様より販売した車の台数 ×100 円として、￥123,900 のご寄付をいただきました。
＊南区の善然寺様より 11 月 23 日の報恩講チャリティーバザーの売上として￥43,770 をリラのいえにご寄附いただきました。
＊ボランティアはハウスの管理運営に、月 40 名以上のボランティアが最低 3 時間交代で活動に参加しています。（ボランティア当直者：約 10 名は夜８時から翌朝９時まで）

バザーにて

善然寺様よりのご寄付

ホンダオート神奈川（株）よりのご寄付

**地元の東横商事による社会貢献から**

## 社員の皆様からのメッセージ

★初めて訪問させていただきました。施設の方のお話をお伺いして人と人とが支えあって協力し合って、また人が暮らしやすく毎日を作っていくのだと実感しました。周りのために自分が精一杯頑張ろうと思いました。本日はありがとうございました。

★前を通ったことはありましたが、“ 何だろう ” と思っていました。今回来させていただいて、お話を伺い子どもがいる身としてこういう場所があることをありがたいなぁと思いました。病気をお持ちのお子さん、又その家族の方の心の拠り所になるような温かい家であってほしいと思います。ありがとうございました。

★今日はお天気が雨ということで、網戸と周りの清掃をさせていただきました。また今日は卵アレルギーのお子さんがラーメンを食べることができて喜んでいただいたお話を聞きとてもうれしく思いました。これから年末に向けて寒くなってくるので皆さん体調にはお気をつけて下さい。

■リラのいえ・利用状況（2010 年 7 月～ 11 月）

| 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 |
|---|---|---|---|---|---|
| 家族数 | 39 | 30 | 24 | 23 | 27 |
| 宿泊数 | 192 | 209 | 196 | 202 | 205 |
| 利用者数 | 390 | 426 | 397 | 443 | 441 |
| 稼働率 | 77.4% | 84.3% | 81.7% | 81.5% | 85.4% |

■きょうだい児預かり保育・利用状況（2010 年 7 月～ 11 月）

| 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 |
|---|---|---|---|---|---|
| 件数 | 36 | 34 | 25 | 32 | 26 |
| 人数 | 50 | 45 | 25 | 34 | 28 |
| 預かり時間 | 88 | 97.5 | 47.3 | 81 | 90 |

■ 2010 年 6 月～ 11 月までの地域別利用者

| 北海道 | 秋田 | 山形 | 宮城 | 福島 | 茨城 | 栃木 | 埼玉 | 千葉 | 東京 | 新潟 | 富山 | 石川 | 静岡 | 愛知 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 2 | 3 | 5 | 1 | 1 | 12 | 4 | 14 | 5 | 2 | 2 | 9 | 14 |
| 三重 | 大阪 | 京都 | 徳島 | 熊本 | | | | | | | | | | |
| 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | | |
| 神奈川県内 | 南足柄郡 | 足柄上郡 | 小田原市 | 厚木市 | 秦野市 | 伊勢原市 | 横須賀市 | 大和市 | 茅ヶ崎市 | 平塚市 | 三浦市 | 相模原市 | 藤沢市 | 高座郡 |
| | 8 | 7 | 4 | 2 | 5 | 4 | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 17 | 9 | 1 |
| 鎌倉市 | 川崎市 | 都筑区 | 瀬谷区 | 緑区 | 港北区 | 戸塚区 | 旭区 | 港南区 | | | | | | |
| 1 | 4 | 3 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | | | | | | |

## お知らせ

| | |
|---|---|
| 6 月 11 日 | チャリティーピアノコンサート「愛する子どもたちのために 2011」開催予定<br>（ミューザかわさきシンフォニーホール：16 時開演） |
| 8 月 13 ～ 14 日 | 重症心身障がい児・者と家族のための「第 3 回地域がささえるふれあいコンサート」3 公演開催予定（横浜ラポールシアター） |

日程は変更になることがありますので、詳細等については「リラのいえ」までお問い合わせください。

**リラのいえ**
〒 232-0066　神奈川県横浜市南区六ッ川 4 丁目 1124-2
電話・FAX：045-824-6014　e-mail：lilanoie@lilac.plala.or.jp

**会報発行者：特定非営利活動法人 スマイルオブキッズ**
http://www.smileofkids.jp/　e-mail：toiawase@smileofkids.jp